



利用者も来場者もみんなで交流

第18回屈足わかふじ園さずなの郷まつり

第18回屈足わかふじ園さずなの郷まつりが8月19日、同園で行われ、地域住民ら約300人が交流しました。アトラクションとして、岩佐彰 with ♪ super session のライブや柳亭互久樂さんの大道芸、新得中学校吹奏楽部の演奏が行われ、施設利用者や来場者からは拍手と歓声があがり、会場は大盛り上がり。

縁日コーナーでは、射的、ヨーヨーすくいや野菜の直販、焼きそばやかき氷などの出店が並び、利用者も来場者も仲良く交流していました。



親子で仲良く食を学ぶ

第1回新得食いく祭り

第1回新得食いく祭り(町観光協会主催)が8月20日、狩勝高原園地で行われ、親子連れなど約50人が参加しました。

グランプリに輝くと任天堂スイッチが当たる卵アートコンテストや食育O×クイズ、お好み焼き調理が行われ、枝豆やビートの展示、じゃがいもの無料配布が行われ、大自然の中での食を楽しみました。

卵アートでグランプリに選ばれた大槻さくらさんは「数日前から練習した甲斐がありました。とても嬉しいです」と話しました。



親子や友達と楽しいひととき

育児の日フェスティバル

親子のふれあいを深め、楽しみや喜びを共有してもらうためのお祭り、育児の日フェスティバルが8月26日、子どもセンターなかよしで開催されました。

リズム運動や親子ストレッチで体を動かしたり、ちびっこ縁日、エアポリンで子どもたちは大はしゃぎ。参加者は思い思いに楽しく遊び、遊び終わった後にはわかふじのミニパンやミニフランクフルトを食べて親子や友達と会話を楽しみました。

話題のアルバム

誰もが気軽に訪れる場所へ

ひろねでHOS I カフェがオープン

地域密着型特別養護老人ホームひろね(佐藤郁子施設長)内の地域交流スペース「つとひ」で8月25日、認知症カフェ「HOS I カフェ」がオープンしました。

HOS I カフェは、飲み物や軽食を楽しみながら認知症についての相談や、書籍などの閲覧ができ、日頃から認知症介護に従事している介護福祉士やケアマネジャー、保健師等がスタッフとして対応します。

佐藤郁子施設長は、「みんなが気軽に訪れ、楽しく過ごせる場所として利用して欲しい」と話しました。

HOS I カフェは月に一度、今年度は9月22日、10月27日、11月24日、12月15日、1月19日、2月16日、3月16日に開催が予定されています。



自立して生活していくために

障がい者地域活動支援センター料理教室

障がい者地域活動支援センター料理教室が8月18日、町保健福祉センターなごみで行われ、かりかち工房の利用者や職員、ボランティアら17人が参加しました。

この教室は、心身に障がいがある方で「料理の方法がよくわからない」、「料理がうまくできない」などの悩みを抱える人が地域で自立して生活するために開催されています。

参加者は、スープカレーや春雨サラダなどの料理の作り方を栄養士の福田春香さんから習いながら協力して料理を行っていました。



農業者らが楽しみつつ真剣勝負

第40回記念大会 新得町農民大運動会

第40回記念大会新得町農民大運動会(JA新得町など主催)が8月23日、町民体育館で開催されました。今回は農業者ら約70人が参加し、3地区に分かれて優勝を競いました。

前回優勝チームの平一真さんが「日頃の農作業で培った体力と技術を発揮して競技に臨みます」と力強く選手宣誓。サイコロを振り、出た目の数のダンボールを運ぶ『大宅急便リレー』や出た目の机にあるお菓子や牛乳を早食いする『大サイコロでドン2』などおもしろい競技が目白押しで、参加者は楽しみつつ優勝を目指して競技に臨んでいました。



地場産品が大集合!

土曜市場がスタート

「だいすき♡しんとく〜笑顔いっぱいみんなの土曜市場」(町農産物等直売会主催)が8月5日オープンしました。

今回から会場を新得駅前の旧玉川菓子店に変更しており、この日は、オープニングイベントとして、にんじん詰め放題、牛乳大試飲会、新得バーガーの販売が行われたほか、朝採れ野菜や、そば、鹿肉、パン、アイスクリームなどが販売され、開店から目当ての商品を求めて行列ができ、観光客も立ち寄るなど多くのお客さんで賑わいました。

土曜市場は9月16日までの毎週土曜日に午前10時から午後1時まで開催されますので、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

